

令和 7 年 6 月 1 2 日
環境生活部 自然保護課
生物多様性センター
電話 0 4 3 - 2 6 5 - 3 6 0 1

柏市内におけるヒアリの確認について

令和 7 年 6 月 5 日（木）に柏市内の民間事業者敷地内に運び込まれたコンテナからアリが発見されました。このアリについて、専門家による種の同定を行った結果、要緊急対処特定外来生物であるヒアリと確認されたため、本日、環境省が、別紙のとおり報道発表を行いましたのでお知らせします。

なお、刺傷等の人的被害は生じていません。

1 経緯

- 6 月 1 日（日） ・ 中国から東京港青海ふ頭に船舶が入港し、コンテナを陸揚げ。
- 6 月 5 日（木） ・ 柏市内の民間事業者敷地内にコンテナ搬入。
 - ・ 事業者がコンテナを開封したところ、多数のアリと、卵・幼虫又はサナギを確認。コンテナ内及びコンテナ外にこぼれ落ちた個体を直ちに殺虫処理。コンテナを封鎖し、環境省「ヒアリ相談ダイヤル」に連絡。
- 6 月 6 日（金） ・ 環境省関東地方環境事務所、県、柏市が敷地の確認調査を実施したところ、コンテナ内でヒアリと疑わしいアリを確認。
 - ・ 追加の殺虫処理を行うとともに、コンテナ周辺に殺虫餌（ベイト剤）を設置。
 - ・ 専門家による種の同定の結果、ヒアリと確認。

2 今回確認されたヒアリについて

確認されたヒアリは、働きアリ計約 500 個体、卵・幼虫又はサナギ計約 30 個です。

3 今後の対応

引き続き、環境省、県、柏市が協力して、目視や粘着トラップによるモニタリングと殺虫餌（ベイト剤）の設置を実施するとともに、ヒアリに関連する情報や刺された場合の対処等について、県民や関係者等へ注意喚起していきます。

【参考】千葉県ホームページ「ヒアリ・アカカミアリにご注意ください」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shizen/seibutsu/gairaishu/hiari.html>



4 その他

- (1) 本件に関する現場での取材は、地権者や関係者の方々へ影響を及ぼすおそれがあることから、厳に慎むようお願いします。
- (2) 今後とも、情報提供に努めますので、関係者が風評被害等により混乱したり、被害を受けることのないよう、御協力をお願いします。

○今回確認されたヒアリ



写真：環境省

○今回ヒアリが発見された場所



出典：地理院地図

(参考) ヒアリについて〔環境省作成資料〕

1. 生態について

- 原産地：南米
- 侵入状況：米国をはじめ、中国や台湾など環太平洋諸国に分布が急速に広がっている。日本では、現在未定着。
- 亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。土で直径2.5～6.0 cm、高さ1.5～5.0 cmのドーム状のアリ塚を作る。雑食性で、節足動物、小型脊椎動物、樹液、花蜜などを餌とする。

2. 懸念される影響

- (1) 生態系に関わる被害：他種のアリと競合し駆逐するおそれがある。極めて攻撃的で、節足動物のほか爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し捕食することが知られ、鳥類の営巣・雛の生育に影響を及ぼした例もある。
- (2) 農林水産業にかかわる影響：牛、馬、鶏など家畜への死傷被害
- (3) 人体に関わる被害：刺されると、アルカロイド系の強い毒による痛みやかゆみ、発熱、じんましん、激しい動悸等の症状が引き起こされる。また、アレルギー性のショックを起こすことがある。